

JAだより

2018 10  
No.296

# ながぬま



— 稲刈り風景 19 区 山田和夫さん —

# 台風21号被害の爪痕!!

## JAグループ北海道現地被害調査 「ながぬま米の館」操業開始

9月5日に北海道に北上した台風21号は、最大風速29.6メートルと公表されていますが、西長沼地区のマメダスでは午前3時ごろに瞬間最大風速41.3メートルを記録。町全体でも瞬間最大風速が40メートル前後あつたものと想定され、大きな被害をもたらしました。

ビニールハウスの被害は937棟で確認し、そのうち244棟が全損・一部損害となりました。また、農作物の被害面積は、ハウスと露地を合わせて55.2ヘクタールとな

り、ハウス設備を含めた被害額は、6億2800万円になると試算しております。

被害を受けられました皆さま方に海道による台風21号による被害の現地調査が行われました。JA北海道中央会の小野寺副会長、ホクレンの柿林副会長、JA道信連佐藤会長、JA道厚生連・共済連北海道の西会長らが、トマトのハウスと露地作物の被害状況を確認しました。



## 新規就農者に激励状を贈る

9月15日、長沼町総合福祉センター「りふれ」で長沼町食料・農業・農村振興協議会の主催による新規就農者激励会が開催されました。

戸川町長からは、「農業は地域を支える重要な産業で、環境の保全、景観の形成などの多面的機能が求められており、少子高齢化の進展で後継者不足が課題となっているが、長沼町はここ10年間で112名が新規に就農している。今年の11名を含めて大変心強い。夢と希望をもつて農業に取組まれると思うが、各関係機関がしっかりとサポートするので安心して取組んでほしい」と挨拶されました。

成田組合長からは、「本年は天候不順の中、新規就農の方々もご苦労されたと思うが、台風や地震で被害にあられた方も多くて長沼町では、農業用ビニールハウスに大きな被害があつたがJAとしても長沼町とともに支援をしていきたい。これから家族や先輩の背中を見ながら、しっかりと根付き大きく育つてほしい

い」と激励されました。

駒谷町議会議長からは、「交通や消費地に近いなど立地に恵まれた長沼町で、自分の職業として農業を選ばれたことに対して農業を志した先輩の一人として歓迎するとともに、自分の目標す農業に取組めるよう

町議会としても取組んでまいりたい」と挨拶されました。

成田組合長から、一人ひとりに連合会からの激励状が手渡され、近藤泰人さんが新規就農者を代表して、「農業者として第一歩を踏み始めて、まだ分からることばかりであるが、強い意志をもつて地域の方々に認めてもらえるよう努力してまいりたい」とお礼を述べられました。



抱負の言葉を述べる近藤泰人さん

9月25日、平成30年産米の荷受作業を開始しました。

昨年より6日遅いスタートとなり、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」、「きらら397」、「きたくりん」約400トンの受入を行いました。

また、本年も引き続き「食への安心・安心・信頼性確保」として、品種判別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い商品を供給してまいります。



JAながぬま 2018年10月号

JAながぬま 2018年10月号

# 新規就農者紹介



1区

荒谷和共レイ



2区

木村  
勝広

消費者の方々においしいと言つてももらえる、長年愛される「きゅうり」を作りたいと思つます。

今年度より就農させていただくことになりました。



13区

清水  
広大

両親から栽培に関する技術を教わり、一日でも早く仕事を覚え、安全・高品質並びに高い収量を目指した栽培に取組んでまいりたいと思います。また、昨年まで株式会社ワイズワークで働かせていただき学んだことを活かせるように取組んでまいりたいと思います。

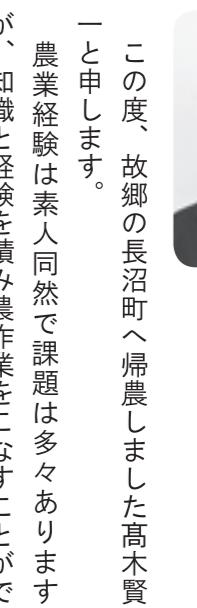


17区

PRIA BPA INC.  
CHINDA

日本人の妻の実家を今年から継ぐことになりました。日本に住むタイ人から、タイと同じ味や形の野菜が欲しいとリクエストが多く、両親と作ることに成功し、安定した味のタイ・アジア野菜を拡大することとなりました。

札幌はもとより、日本に住むタイ人たち、そしてタイ料理が好きな日本の方々に喜んでいただけるよう、安全で本格的なタイの味を作つてみたいと思います。



6区

高木  
賢一

10区

堀田  
健作

生花店での経験、知識、人脉を花き生産に生かしたいと思います。どのようなものが使いやすいのか、どのようなものが必要とされているのかを経験上知つていています。消費者や花店に寄り添つた花き生産を出来るように頑張ります。

農業は、土を大事にして、おいしいものを人に届けられる職業だと思います。外部からの購入資材に頼らず、地域の中で生み出される資源をできる限り活用しながら、出会つて手渡せる範囲の人たちに、大切に育てた野菜や穀物と、それらを使った加工品を食べてもらえるような農業を目指していきたいと思っています。



8区

金子  
新平

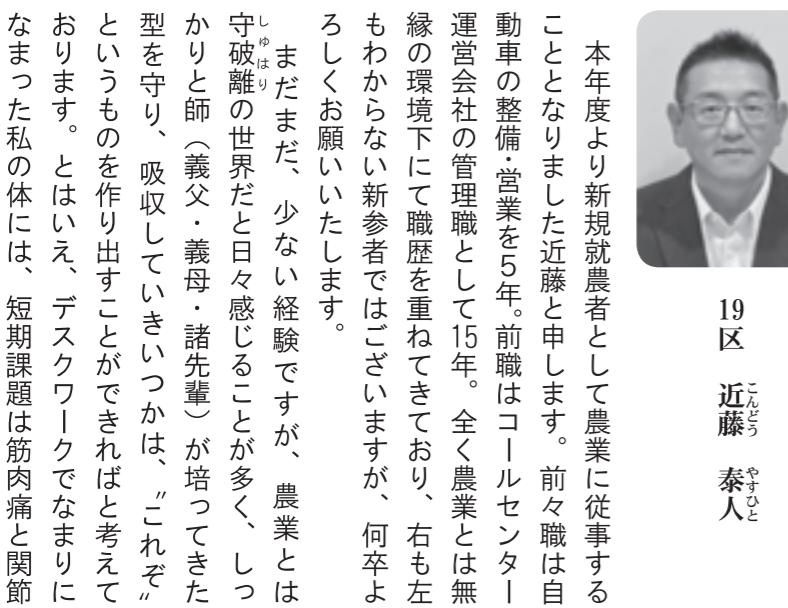
地域の農業従事者の皆様方、JAながぬまの皆様方、各農業関連機関の皆様方にはご相談させていただきましたが、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。まだまだ、わからぬことだけですが、同じ地区や地域の皆さまに、知識・技術を教わりながら立派な農業経営者になりたいと思います。



13区

大杉  
謙太

新規就農するにあたって、農業についてはまだ未熟ではありますが、父が築き上げてきた農業を引き継ぎ、いずれ超えてゆけるよう努力し、地区の方々のお力も借りていきながら、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



19区

近藤  
泰人

良いものを作り長沼町の良さを発信していくたいと思います。まだ未熟ではありますが頑張つていきました。

今年度より新規就農者として農業に従事することとなりました近藤と申します。前々職は自動車の整備・営業を5年。前職はコールセンター運営会社の管理職として15年。全く農業とは無縁の環境下にて職歴を重ねてきており、右も左もわからない新参者ではございますが、何卒よろしくお願ひいたします。



30区

斎藤  
圭太

私は、元々犬が好きで東京で犬の美容師をやっていました。そんな私が農業を始めるきっかけになったのは、父の病気でした。私の父は化学物質過敏症という病気です。この病気はまだ原因がはつきり解明されておらず、完全に治すのは困難と言われています。父は洗濯用の洗剤や柔軟剤をはじめ、香水や整髪料の匂いでも頭痛やめまいを起こして寝込んでいた時期もありました。重度の場合は、慣行農法で作られた農作物も食べられないという方もいるそうです。

この事実を知った時に一念発起して農業をやろうと思いました。色々な病気で食べ物に困っているような方々にも安心して食べていただけ安全で地球環境に優しい農作物作りをしたいと思っています。

未熟者で迷惑をかけてしまうこともあるかも知れませんが、どうぞよろしくお願いします。

## ながぬまクリーンライス生産協議会水稻現地研修会の開催

9月3日、24区柴田専務ほ場にて生産者9名が参加の下、水稻疎植栽培「そらゆき」現地研修会が開催されました。

普及センターの宗像支所長を講師に迎え、そらゆきの品種特性、省力化技術疎植栽培の概要について研修を行いました。研修会時には、柴田専務より疎植栽培の取組みや感想などのお話していただき、有意義な研修会となりました。



## 夕やけ市でとうふ販売

9月22日に長沼町本通り商店街で夕やけ市が開催され、Aコープながぬま店前で青年部がながぬま産大豆を使用した「誉とうふ」の販売を行いました。

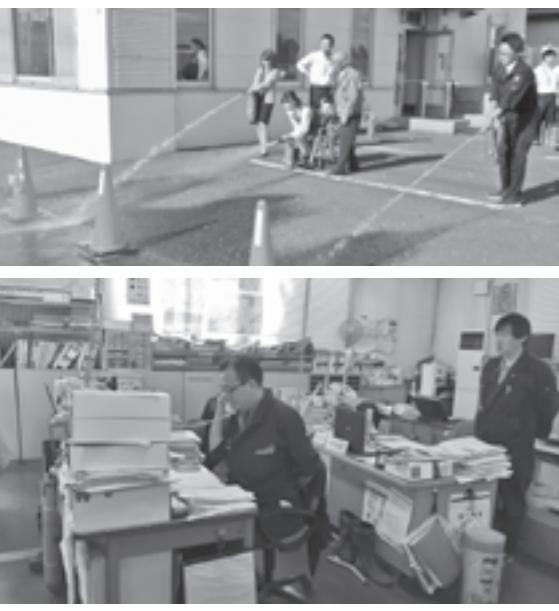
当日は時折雨の降る中でしたが、とうふや小揚げ・おから等を販売し、今年最後の夕やけ市ということもあり、たくさんのお客様に購入いただきました。



## 消防避難訓練を実施

9月19日、消防法施行令により年2回の消防訓練が義務付けられ、本所事務所・Aコープながぬま店、本所生産資材事務所も含め通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

この日はそれぞれの事務所内で出火があったとの想定で自動火災報知設備での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う119番への通報・消防活動、事務所内の避難誘導を職員・従業員が行いました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導による水消火器で火災を想定として消火作業を行い、職員は真剣な表情で万が一の火災発生時に対処出来る様備えました。



## J Aながぬま 駅伝大会で力走

9月24日、第31回長沼町駅伝大会が開催され、町内外から68チームが参加し、JAながぬまチーム（成田正夫監督）も参加しました。この大会は、本町と姉妹都市である水沢市（現奥州市）と「長沼水沢間友好リレーマラソン大会」を実施したことになります。以来、毎年秋分の日を開催されています。

当日は途中雨の降る天候でしたが、黄金色に輝く田園風景の中を、5人が襷をつなぎ、さらなるチームワーク向上につながりました。



## 秋まき小麦収穫後のブロッコリー栽培講習会開催

9月21日、24区柴田専務ほ場におきまして、農業所得向上を目的とした、秋まき小麦収穫後のブロッコリー栽培講習会が開催されました。

阿部當農コンサルタントを講師に迎え、病害虫対策や収穫方



法、出荷方法について講習を行いました。

今年、初めてブロッコリー栽培に取り組まれた生産者と農協職員17名が参加し、収穫作業を体験するなど、大変有意義な研修会となりました。



# J A 教育ローン 特別金利キャンペーン

入学金・授業料だけでなく、アパート等の入居費用等にもご利用いただけます。

キャンペーン  
期間

平成30年9月3日(月)から  
平成31年5月31日(金)まで

キャンペーン  
金利

変動金利 1.7%  
固定金利 2.0%



※当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきます。

※別途保証機関への保証料がかかります。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

詳しくは金融部融資課までお気軽にご相談ください!  
お問い合わせ 金融部融資課 TEL88-2224

ハッピー マイライフ

12月号申し込み〆切日10月15日(月)  
1月号申し込み〆切日11月15日(木)

1月号 第2別冊付録

1月号 第1別冊付録

1月号 第1別冊付録

人・JA・地域が元気  
家の光

定価 ●家計簿付き12月号 1,008円  
税込 ●付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円 ●普通月号 617円 \*タイトル、表紙デザインは変更することがあります。

お問い合わせ 営農部営農企画課 ☎88-2232

## 農協仮決算報告

### 事業の概況

平成30年度 上半期事業の概況を報告いたします。

本年は積雪もやや少なく、融雪期は3月24日となり9日早まりました。4月中旬以降、5月は気温が高く、農作業は順調に行われました。しかし、6月中旬から7月中旬まで低温、日照不足及び降雨の影響により生育は停滞し、各作物において苦労の中、収穫作業が行われています。

水稻は5月の好天もあり、移植期は平年より2日早い5月21日となり、活着も良好でしたが、6月の低温、日照不足により生育は停滞しました。その後7月上旬の低温、日照不足により、出穂にはばつきが見られたことから、穗揃が悪化し、登熟にも時間を要する状況となっております。

小麦については、融雪が早く、起生期で8日早まり、その後の好天で幼穂形成期、止葉期及び出穂期はいずれも早まりました。しかし、6月中旬から7月上旬までの低温日照不足により登熟は緩慢で、平年より2日遅い7月23日に成熟期となり、収穫始も平年より2日遅く始まりました。開花期間中と登熟中の低温日照不足の影響により細麦傾向になり、麦バラ施設における小麦受入重量は12,331t(計画対比84.2%)となっています。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農協経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 信用事業

区分	上期末残高	前年対比
貯金	36,520,667千円	798,184千円増加
長・短期貸付金	5,664,094千円	222,774千円増加
受託資金	6,075,790千円	366,416千円減少
計	11,739,884千円	143,642千円減少

### 共済事業 (生命・終身・こども・建更・年金)

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	75,533,560千円	2,581,550千円減少

### 販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	440,221千円	45,443千円増加
小麥	29,210千円	7,534千円減少
豆類・その他	66,792千円	9,824千円増加
園芸	1,024,192千円	173,172千円減少
酪畜	332,250千円	115,561千円減少
計	1,892,665千円	241,000千円減少

### 営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	444,493千円	7,959千円増加
その他資材	1,289,467千円	90,031千円増加
農機具	346,692千円	36,826千円減少
計	2,080,652千円	61,164千円増加

# 業務時間変更のお知らせ (11月~3月)

	区分	平日	土曜日	日・祝日
一般業務	本所	9:00~17:00	休業	
	北長沼支所	9:00~17:00	※緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 <b>0120-944-904</b>	
	舞鶴事業所	9:00~17:00	自動車事故受付サポートセンター <b>0120-258-931</b>	
ながぬま農協	貯金・融資・共済(窓口業務)	本所 9:00~15:30	レッカー移動・故障時応急対応 <b>0120-063-931</b>	
	北長沼支所	9:00~15:30		
現金自動支払機(ATM)	本所	9:00~18:00	9:00~16:00	休業
	北長沼支所	9:00~16:30	休業	
	舞鶴事業所	9:30~16:30		
資材センター	本所	9:00~16:30	11月 日直対応(9:00~16:30) 12月以降 休業	
(株)ウィズワーク Aコープ店舗	長沼店	10:00~18:30		10:00~18:30 定休日については店頭表示にてお知らせします。
	北長沼店	9:00~17:30	9:00~12:30	休業
関連会社	(有)長沼燃料センター	本店事務所	9:00~17:00	
	ホクレン給油所	長沼給油所	第一・三日曜日休業 その他日曜・祝日は日直対応(9:00~17:00)	
	北長沼給油所	8:00~18:00	8:00~12:00	休業
(株)長沼機械センター		8:00~17:00	日直対応(8:00~17:00)	

## JA共済 JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

### ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは

**フリーダイヤル  
安心サービス**  
**24時間・365日対応**

事故等の場合には

JA共済事故受付センター  
**0120-258-931**

レッカー移動や  
故障時の応急対応が必要な場合には

JA共済サポートセンター  
**0120-063-931**

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

### JA共済の安心サービス

#### 1. レッカーサービス

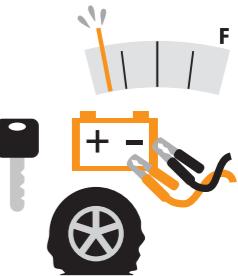
現場から100km以内のけん引が無料!  
クレーン作業などの難作業も5万円(税込)まで  
JA共済が負担します。



事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカーカーで現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。横転、路外逸脱等による難作業も対応します。

#### 2. ロードサービス

30分程度で対応可能な  
応急対応が無料!



故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。

事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご自身で工場等へ直接手配された場合は本サービスの対象外となります。)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。  
※ロードサービスについて、30分を超えた場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。  
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引にかかる費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応にかかる費用に加え、30分を超えた場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

#### 3. 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



■本サービスの受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。  
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。  
※原則として、対応員の出動拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。  
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

#### 4. 夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

■本サービスの受付時間は、平日：17時～21時(対応は22時まで)、土日・祝日：9時～21時(対応は22時まで)です。  
※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両費用保険特約の付いた車両単独事故が対象となります。  
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

#### 5. 休日契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

■本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜・終日、日曜・祝日：0時～17時です。  
※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。  
※JA共済より業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

### 24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)

※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。

※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。  
18010504030

# J A グループ 通信



## ロータリーブレード年内予約推進のご案内

来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

J AオリジナルのSP爪・青爪・だんだん爪(株太陽製)および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

※10月23日～10月26日の日程で、各戸巡回推進へ伺いますので、ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申しつけください。

お問い合わせ 本所資材センター 88-2189

## 団体人間ドック健診日のお知らせ

4月に取りまとめをいたしました、団体人間ドックを10月より行います。

申し込みをされた方には、受診予定日の1ヶ月程前にハガキにて健診日をご案内いたしますので、内容をご確認くださいますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、営農企画課(88-2226)までご連絡ください。



平成30年北海道胆振東部地震及び台風21号により、亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

この度の災害に関して、各連合会の取組み内容をお伝えします。

## J A 北海道中央会



J Aグループ北海道では、9月6日、「平成30年北海道胆振東部地震・台風21号に係る農業団体災害対策本部」を設置し、胆振東部地震の被害に対し、緊急的に當農資材や生活物資の支援や農業関連施設の復旧に向け人的支援を実施しました。

政府・与党などに対しては、被害状況や現地で必要とする対策を迅速に伝え、ライフルインや農地・共同利用施設等の復旧、被災農業者の営農継続支援、災害に強い農山漁村づくりに向けた整備など万全の対策を求めてまいりました。

また、組合員が、安心して営農を継続できるよう、北海道電力株式会社に対し電力の安定供給ならびに万全な発電・通電体制の構築を要請しています。

J Aバンク北海道では、窓口対応として通帳等をなくされた方に対して、一定の範囲内でお支払に応じさせていただきます。

また、被害組合員に対する相談窓口を設置し、被災された組合員が今後必要とする資金のお借入れや既往借入金のご返済等に関する相談をお受けするなど、関係機関と連携を十分にとりながら金融支援対応に万全を期していきます。

J A共済連では、9月18日から連日25名体制で被害調査・査定体制を組み、現地に赴き早急に調査・支払いを進め、復旧支援に努めてまいります。

一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

## J A 北海道信連



J A北海道厚生連では、行政、JA、関係機関等の協力を得て早期に診療体制の回復に向け対応いたしました。

組合員の皆さまが一日も早く平穏な生活を取り戻すことができるようお祈り申し上げます。

ホクレンは、「北海道胆振東部地震・台風21号対策本部」を設置し、被害にあわれた生産者の皆様の一時も早い復旧に向け、要請に応じた人的・物的支援を含め、農畜産物の生産、貯蔵、流通の正常化に向けた活動を続けております。

今回の災害に際しましても、協同組合の力を結集し、会員JA・組合員の皆さまが一日も早く、平穏な生活を取り戻すことができますようお祈り申し上げるとともに、ホクレンとしての役割を今後も全力で果たしてまいります。

## ホクレン



J A共済連では、9月18日から連日25名体制で被害調査・査定体制を組み、現地に赴き早急に調査・支払いを進め、復旧支援に努めてまいります。

一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

## J A 共済連北海道

J A共済連では、9月18日から連日25名体制で被害調査・査定体制を組み、現地に赴き早急に調査・支払いを進め、復旧支援に努めてまいります。

一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

## 理事会報告－第9回－

《平成30年9月14日開催》

### [議案]

- 第1号 子会社平成30年度上半期仮決算報告について
- 第2号 平成30年度上半期仮決算報告について
- 第3号 信用供与等の決定について
- 第4号 台風21号に伴う農業被害調査報告と諸対策について
- 第5号 固定資産(ライスセンター格納庫)の解体処分について
- 第6号 「第29回JA北海道大会」組合員組織討議資料に係る意見集約について

### [報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 主要農産物生育状況について
3. 平成30年産小麦受入状況について
4. 野菜・花き共選等の状況について
5. 職員に対する定時手当の支給について
6. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



### 今月の組合員数

組合員 1,641名  
正組合員 ( 856名)  
准組合員 ( 785名)  
正組合員戸数 730戸

## 農協の動き 8/31～9/14

### 8月

- 31日 ながぬま土地改良区断水式 於 長沼神社
- 31日 空知管内JA専務会議 於 空知農業会館

### 9月

- 3日 北海道土地改良事業団体連合会臨時総会 於 札幌市内
- 3日 空知種いも協議会 於 空知農業会館
- 7日 空知玉葱共販協議会 於 空知農業会館
- 11日 北海道連合会常勤役員災害状況現地調査 於 農協・現地
- 12～14日 (-社)北海道農協経営審査協会 内部審査 於 農協
- 14日 理事会 於 農協
- 14日 粿バラ施設運営協議会 於 農協
- 14日 事業推進員会議 於 農協



●お申し込みは JAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  
**日本農業新聞**  
[www.nougyou-shimbun.ne.jp](http://www.nougyou-shimbun.ne.jp)

**喪中はがき  
年賀状印刷  
承ります**

**喪中はがき 10月20日より受付**

**年賀状 11月1日より受付**

**Aコープながぬま店 ☎88-2222**

**Aコープ北長沼店 ☎89-2136**